

第10期稲美町介護保険事業計画及び高齢者福祉計画改定協力者連絡会（第1回） 議事録

開催日時：令和8年8月3日（月）13時30分～15時00分

開催場所：いきがい創造センター2階 多目的ホール

出席委員：本岡委員、藤井委員、大久保委員、坂口（智）委員、中井委員、松本委員、高田委員、
中村委員、坂口（千）委員、辻本委員、市谷委員、佐藤委員、米田委員

欠席委員：三木委員、黒石委員、辻元委員

会議次第

- 1 開会あいさつ
- 2 協力者、職員紹介
- 3 会長及び副会長選出
- 4 議題
 - I．第10期介護保険事業計画策定について
 - II．介護保険に関するアンケート調査について
 - III．今後のスケジュールについて
- 5 閉会

○会長

それでは議題に入ります。

I. 第10期介護保険事業計画策定について

【事務局より説明】

○会長

事務局より説明が終わりました。何かご意見、ご質問はございませんか。

(意見なし)

II. 介護保険に関するアンケート調査について

【事務局より説明】

○会長

ご意見・ご質問はございませんか。

○協力者

報告書の1ページにある「在宅介護実態調査」の回収率が74.0%となっていますが、この数値について、事務局側としてはどのような要因が考えられますか。また、回収率に対する受け止めをお伺いしたいです。

○事務局

前回の実績は71.1%でしたので、前回に比べれば回収率は上昇しています。今回は従来の紙による回答だけでなく、Web回答も導入したことで、回答しやすい方法を選択していただけたのではないかと考えています。また、質問項目数なども回収率に影響している可能性があります。

○協力者

回収率が低い（約25%が未回答である）ということは、集計結果のパーセンテージにずれが生じる可能性があります。数値が変動すれば計画に与える影響も大きいです。なぜ回答できなかったのか、あるいは回収率を上げるために未回答者に対してトレースを行うなどフォロー体制を強化するべきではないでしょうか。個人情報等で名前が分からないなどの難しさはあるかもしれませんが、3万人の規模の町であるからこそ、フォローの工夫ができるのではないのでしょうか。今後の対策を検討していただきたいです。

○事務局

未回答の方に対しては、ハガキ等で再度回答をお願いする督促は実施しました。その結果としての数値であります。また統計学的には、サンプル数（N数）が500件確保されていれば、全体の傾向を把握することは十分可能とされています。

なお、在宅介護実態調査の回収率は、他の自治体と比較しても決して低い水準ではないことをご報告しておきます。

○協力者

統計的な話や他市町の状況は理解していますが、稲美町は3万人の規模です。大都市とは異なり、住民一人ひとりへのアプローチやフォローの工夫によって、さらに高い回収率を目指せるのではないかと考え、今後の課題として発言しました。

○事務局

今回の会議の主な目的は、皆様に稲美町の介護の現状を把握していただくことです。そのため、第9期計画の推計値と現在の実績値を比較した資料を提示しました。

特に注目していただきたいのは、資料1の2ページ「認定者数の推移」であります。第9期計画の策定時には、人口構成等に基づき、将来の認定者数を推計していました。令和6年度については、推計値と実績値が

ほぼ同数でありましたが、令和7年度の実績は推計より75人少なく、令和8年度（5月末現在）の実績は推計より116人少なくなっています。

認定者数が当初の推計よりも少なく推移している要因としましては、皆様に日々ご協力いただいている「いきいき100歳体操」などの介護予防活動の成果が着実に現れてきているためではないかと分析しています。

これに関連して、6～7ページの給付費、8ページの事業費についても認定者数が減少していることに伴い、令和6年度、令和7年度ともに計画していた給付費、事業費よりも実際にかかった費用が下回っています。介護保険事業としては比較的安定した安心できる状況で推移していると言えます。

第10期計画においては、第9期の推計値を単純に引き継ぐのではなく、この実績値に基づき、少し低い水準から給付費を再推計することになります。

今後、高齢者福祉サービス全体の計画や介護予防事業について説明を深めていきますが、現状としては当初の予測よりも安定して推移していることをご理解いただきたいと思います。皆様の忌憚のないご意見や感想を伺い、計画に反映させていきたいと思っております。

Ⅲ. 今後のスケジュールについて

【事務局より説明】

第2回目を10月上旬から中旬で調整、時間は14時頃から。

第3回目を11月下旬から12月下旬の予定。

第4回目を1月下旬から2月上旬の予定。

○会長

ご意見・ご質問はございませんか。

○協力者

今回は現状を把握する会議でありましたが、第2回目に参加するにあたり、あらかじめ考えておくべきことや、どのような心構えで臨めばよいのか事務局としての要望があれば伺いたいです。

○事務局

第1回目は介護保険の現状を見ていただきましたが、第2回目においては「介護保険外の高齢者サービスや介護予防事業」の現状について説明します。その中で、皆様が日頃関わっておられる分野に関し、「実際にはこのように感じている」「現場ではこう思う」といった生の声を資料を見ながらお話しいただければ大変ありがたいです。

第3回目になると、具体的な「第10期のサービス見込み量」の算出に移ります。その見積もりが妥当であるか、「高すぎるのではないか」「行き過ぎではないか」といった議論をお願いすることになります。

資料は事前に送付しますので、専門用語等で分かりにくい点があれば、事前にお電話等で問い合わせただければお答えします。本格的な議論は第2回、第3回からとなるため、よろしく願います。

閉会